

同時資料配布先:

経済産業記者会

エネルギー記者会

学研都市記者クラブ

2020年12月16日

二酸化炭素地中貯留技術研究組合

## CCS テクニカルワークショップ 2021

～ CCS の社会実装に向けた CO<sub>2</sub> 地中貯留技術の実用化 ～

開催について

当組合は、大規模発生源から分離回収した二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を地下深部に貯留する CCS（Carbon dioxide Capture and Storage）に関するワークショップを2021年1月27日（水）に開催いたします。

当技術研究組合では、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構からの「安全な CCS 実施のための CO<sub>2</sub> 貯留技術の研究開発」に係る委託事業において、各種の技術開発等に取り組んでいます。

また、CCS の社会実装に向けては、技術面に加えて、民間企業へのインセンティブ、政府の支援など、多面的な方策や協力が必要となります。

そこで、本ワークショップでは、海外の CCS プロジェクトを主導する専門家から、プロジェクトの動向や計画ならびに安全性に資するモニタリングについて解説していただきます。また、CCS の社会実装のための条件整備に係る方策についても紹介いたします。さらに、CO<sub>2</sub> 地中貯留の実用化には安全性と経済性の両立が求められていますが、それらを実現する光ファイバーセンシング技術やマイクロバブル CO<sub>2</sub> 圧入技術などの開発成果、実用化への取り組みについてご報告いたします。

### 1. 開催概要

日時: 2021年1月27日（水） 10:30～16:35（10:00 受付開始）

会場: 虎ノ門ヒルズフォーラム 5F メインホール

および web 配信

参加費: 無料

主催: 二酸化炭素地中貯留技術研究組合

組合員: 応用地質株式会社、国際石油開発帝石株式会社、JX 石油開発株式会社、

石油資源開発株式会社、大成建設株式会社、電源開発株式会社、

国立研究開発法人産業技術総合研究所、

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

共催: 経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

言語: 日本語、英語（同時通訳有り）

開催案内 URL: <http://www.rite.or.jp/news/events/2020/12/ccs2021.html>

## 2. プログラム

モデレーター：京都大学名誉教授 松岡 俊文

(敬称略)

	項目	演題	講演者
(10:00)	(受付開始)		
10:30～10:35	開会挨拶		二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事長 山地 憲治
10:35～10:40	共催者挨拶		経済産業省 地球環境対策室長 川口 征洋
10:40～10:45	共催者挨拶		国立研究開発法人新エネルギー・ 産業技術総合開発機構 環境部長 田中 秀明
10:45～10:50	趣旨説明		京都大学名誉教授 松岡 俊文
10:50～11:40	講演 1 (web)	Commercialization of Offshore CCS in Gulf of Mexico	Timothy A. Meckel Senior Research Scientist Bureau of Economic Geology, Jackson School of Geosciences, The University of Texas at Austin
11:40～12:20	講演 2 (web)	Building Decarbonization Society in Indonesia through Carbon Capture, Utilization and Storage (CCUS)	Mohammad Rachmat Sule Senior Lecturer Bandung Institute of Technology
12:20～13:30	休憩		
13:30～14:20	講演 3	CCS の社会実装 ～産業、政府、金融の協力～	株式会社三井物産戦略研究所 シニア研究フェロー 本郷 尚
14:20～15:10	講演 4	技術開発と実用化への取組 ～光ファイバーセンシング、マイク ロバブル CO <sub>2</sub> 圧入技術～	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部長 薛 自求
15:10～15:30	休憩		
15:30～16:20	講演 5 (web)	Current Status of the Norwegian Industrial CCS Project - Longship/Northern Lights Updates on Northern-Lights monitoring project and R&T efforts input to the program	Anne-Kari Furre Advisor Reservoir Geophysics Equinor ASA  Roya Dehghan-Niri Principal Researcher Geophysics Equinor ASA

16:20～16:30	総括		京都大学名誉教授 松岡 俊文
16:30～16:35	閉会挨拶		二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事

### 3. 参加登録

下記のとおり、(1) オンライン登録、または (2) E-mail にて、お申込み下さい。

#### (1) オンライン参加登録

【開催案内】 <http://www.rite.or.jp/news/events/2020/12/ccs2021.html>

【参加登録】 <http://ccs2021.net/form/>

#### (2) E-mail でのお申込み

【宛先】 [ccs2021@rite.or.jp](mailto:ccs2021@rite.or.jp)

【記入事項】

- ①お名前（漢字）、②お名前（かな）、③会社名（漢字）、④会社名（かな）、⑤部署名、
- ⑥役職名、⑦お電話番号、⑧E-mail アドレス、⑨ご希望の参加方法（web 配信／会場参加）、
- ⑩今後の関連イベント案内の送付（可／不可）

- ※ 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、会場での対面開催と web 配信を合わせたハイブリッド方式にて開催いたします。ご希望の参加形式をお選びください。
- ※ なお新型コロナウイルス感染症対策のため会場の定員数が少なくなっており、会場での聴講希望でお申込みいただいた方全員のお席を確保できない可能性がございます。
- ※ お席が確保できた方には 1 月下旬に「会場参加案内」を発信いたします。当日はご面倒ですが、「会場参加案内」メールのプリントアウトをお持ちくださいますようお願い申し上げます。
- ※ ご希望の参加方法が会場参加の場合も、web 参加にご変更が可能です。web 参加の方法を記載したお知らせメールを皆様に発信いたします。
- ※ web による参加をご希望の皆様には、1 月下旬に「招待メール」を発信いたします。
- ※ 取材を希望される報道関係者の方も参加登録をお願いします。やむを得ず当日受付となる場合は、ご本人確認のため名刺をご持参下さい。
- ※ ご提供いただいた個人情報は、参加者名簿の作成、イベント案内のために利用させていただくことがあります。

参加登録に関するお問い合わせ先:

CCS ワークショップ 2021 事務局

TEL: 03-5549-6911 E-mail: ccsws@rite.or.jp

ワークショップの内容に関するお問合せ先:

二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部 技術研究第一グループ 中西、平井

TEL: 0774-75-2309 E-mail: ccsws@rite.or.jp

本プレス発表に関するお問合せ先:

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ 川口、辰巳

TEL: 0774-75-2301 E-mail: pub\_rite@rite.or.jp